

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5123246号
(P5123246)

(45) 発行日 平成25年1月23日(2013.1.23)

(24) 登録日 平成24年11月2日(2012.11.2)

(51) Int. Cl.	F 1		
HO 4 N 5/64 (2006.01)	HO 4 N	5/64	5 8 1 A
A 4 7 B 96/06 (2006.01)	A 4 7 B	96/06	D
A 4 7 B 81/06 (2006.01)	A 4 7 B	96/06	Q
	A 4 7 B	81/06	D

請求項の数 3 (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2009-107068 (P2009-107068)	(73) 特許権者	000005821
(22) 出願日	平成21年4月24日(2009.4.24)		パナソニック株式会社
(65) 公開番号	特開2010-258812 (P2010-258812A)		大阪府門真市大字門真1006番地
(43) 公開日	平成22年11月11日(2010.11.11)	(74) 代理人	100087767
審査請求日	平成23年3月17日(2011.3.17)		弁理士 西川 恵清
		(72) 発明者	瀬戸 一範
			大阪府門真市大字門真1048番地 パナソニック電工株式会社内
		(72) 発明者	塩田 弘樹
			大阪府門真市大字門真1048番地 パナソニック電工株式会社内
		(72) 発明者	山崎 治郎
			大阪府門真市大字門真1048番地 パナソニック電工株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 棚装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

壁に取り付けられる支持材と、支持材よりも左右幅が広く支持材に取り付けられて支持材を室内側である前側から覆う化粧パネルと、支持材で支持されて化粧パネルの前方に配置される棚を備え、化粧パネルの側端部から後側に向けて突設されて、化粧パネルの支持材より外側方に突出した部分と壁の間に形成された配線用空所を外側から覆うカバー部を備え、支持材の側部にテーブルタップが取り付けられる取着部が設けられ、カバー部の前記取着部に取り付けられて配線用空所に配置されたテーブルタップに対応する部分に、前記配線用空所を外側方に解放する作業用開口が形成されることを特徴とする棚装置。

【請求項2】

前記化粧パネルの左右方向の中央部が支持材で支持されると共に、該化粧パネルの支持材より外側方に突出した両側部分と壁の間に配線用空所が夫々形成されることを特徴とする請求項1に記載の棚装置。

【請求項3】

前記カバー部を有して化粧パネルに対して着脱自在に取り付けられる配線カバーを備えることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の棚装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は電気機器等を載置するための棚装置に関する。

【背景技術】**【0002】**

液晶テレビやプラズマテレビ等の薄型テレビを壁に掛けて設置する場合、テレビの周辺機器となるDVDプレーヤーやビデオデッキ等の電気機器を設置するための棚等が必要となる。

【0003】

従来、特許文献1に示す棚装置が知られている。この棚装置は、左右一对の棚柱をビス等で壁に取り付けられる横繋ぎ材で繋ぎ、一对の棚柱に棚を突設してある。一对の棚柱の前面には棚柱の間に架け渡すように化粧パネルを取り付けてあり、この化粧パネルにより横繋ぎ材の前側が覆われている。また、化粧パネルの後方は棚に載置された電気機器とテレビを接続するための配線等を通すための配線用空所として利用され、配線用空所に配置された配線は化粧パネルにて隠せるようになっている。

10

【先行技術文献】**【特許文献】****【0004】**

【特許文献1】特開2006-60754号公報

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0005】**

ところで、前記配線用空所には、電気機器及びテレビの電源線が通され、通常、これらの電源線は配線用空所から引き出されて壁に設けられたコンセントに接続される。しかし、このようにすると、長い電源線が必要となり、また、多数の配線が露出して見栄えが良くない。

20

【0006】

本発明は上記従来の事情に鑑みてなされたものであって、長い電源線を必要とせず、見栄え良く配線することができ、尚且つ、配線作業のしやすい棚装置を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】**【0007】**

上記課題を解決するために本発明の棚装置は以下の構成を有する。壁2に取り付けられる支持材6と、支持材6よりも左右幅が広く支持材6に取り付けられて支持材6を室内側である前側から覆う化粧パネル7と、支持材6で支持されて化粧パネル7の前方に配置される棚8を備える。化粧パネル7の側端部から後側に向けて突設されて、化粧パネル7の支持材6より外側方に突出した部分と壁2の間に形成された配線用空所37を外側から覆うカバー部49を備える。そして、支持材6の側部にテーブルタップ57が取り付けられる取着部17が設けられ、カバー部49の前記取着部17に取り付けられて配線用空所37に配置されたテーブルタップ57に対応する部分に、前記配線用空所37を外側方に解放する作業用開口58が形成されることを特徴とする。

30

【0008】

また、前記化粧パネル7の左右方向の中央部が支持材6で支持されると共に、該化粧パネル7の支持材6より外側方に突出した両側部分と壁2の間に配線用空所37が夫々形成されることが好ましい。

40

【0009】

また、前記カバー部49を有して化粧パネル7に対して着脱自在に取り付けられる配線カバー9を備えることが好ましい。

【発明の効果】**【0010】**

本発明にあっては、取着部に取り付けられて配線用空所に配置されたテーブルタップに、棚に載置された電気機器やテレビの電源線を接続することができ、この場合、短い電源線であっても、電気機器やテレビに電力を供給することができる。また、配線用空所から

50

は電源供給用の電線としてテーブルタップの電源線のみを引き出せばよく、多数の配線が露出せず、見栄えが良い。

【0011】

また、カバー部においてテーブルタップに対応する箇所には配線用空所を外側方に解放させる作業用開口が形成され、この作業用開口を配線用空所に外側から手を入れるための開口として利用することができる。このため取着部にテーブルタップを取り付ける作業や、取着部に取り付けられたテーブルタップに電源線を接続する作業が容易になる。

【0012】

また、支持材で化粧パネルの左右方向の中央部を支持することで、化粧パネルを支持材でバランス良く支持できる。また、化粧パネルの支持材より外側方に突出した両側部分の夫々と壁との間に形成された配線用空所に配線やテーブルタップ等を露出することなく配置でき、化粧パネルと壁の間を有効に利用できる。

10

【0013】

また、カバー部を有する配線カバーが化粧パネルに対して着脱自在に取り付けられるものであると、化粧パネルから配線カバーを取り外すことで、配線用空所を外側方に大きく解放させて、該配線用空所に配線やテーブルタップ等を容易に配置することができる。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図1】本発明の実施形態の一例の棚装置及びテレビを後側から見た斜視図である。

【図2】同上の棚装置を設置した状態を示す前側から見た斜視図である。

20

【図3】同上の棚装置及びテレビを下側から見た斜視図である。

【図4】同上の棚装置及びテレビを上側から見た斜視図である。

【図5】同上の棚装置の分解斜視図である。

【図6】同上の壁に設置した棚装置の側部の水平断面図である。

【図7】同上の配線カバーを示し、(a)は平面図であり、(b)は側面図である。

【発明を実施するための形態】

【0015】

以下、添付図面に基づいて本発明の実施形態につき説明する。本実施形態の棚装置1は、図1乃至図4のように壁2に掛けた液晶テレビやプラズマテレビ等の薄型のテレビ3の下方に設置され、テレビ3の周辺機器となるDVDプレーヤーやビデオデッキ等の電気機器4を載置するために用いられる。なお、テレビ3はテレビ掛け具を介して壁2に取り付けられる。

30

【0016】

図1、図5等にも示すように、棚装置1は、部屋の壁2及び床5に固着される上下に長い支持材6と、支持材6に取り付けられることで支持材6を室内側となる前側から覆う化粧パネル7と、支持材6で支持されて化粧パネル7の前方に配置される棚8と、化粧パネル7の背面の両側に着脱自在に取り付けられる配線カバー9を備えている。

【0017】

支持材6は、壁2に固着される支柱10と、支柱10の下端部に取り付けられて床5に固着される幅木よけ12とで構成される。

40

【0018】

幅木よけ12は上端部がビス等で支柱10の下端部に取り付けられ、支柱10の前部より下方に突出する。幅木よけ12の後側には左右、下方、及び後方に開口する幅木用凹所16が形成されている。また、幅木よけ12の前側には左右、上方、及び前方に開口する配線用凹所15が形成されている。

【0019】

幅木よけ12は幅木用凹所16に壁2の下端部に設けられた幅木11の長手方向の一部を通過させた状態でビス等の固着具によりその下端部が床5に固着される。なお、幅木よけ12は床5に固着せず、床5上に載置するだけでもよい。また、本例の幅木よけ12は支柱10と別体であるが、支柱10と一体に設けてもよい。

50

【 0 0 2 0 】

支柱 1 0 は金属製で中空に形成され、背面部が壁 2 の幅木 1 1 よりも上方の室内側の面に当接される、或いは壁 2 の近傍に配置される。支柱 1 0 の両側面の後部の上下複数箇所には平面視 L 字状の取付具 1 3 の一片が取り付けられる。各取付具 1 3 の他片は背面を壁 2 に沿わせた状態でビス 1 4 で壁 2 に取り付けられる。これによって支柱 1 0 は両取付具 1 3 を介して壁 2 に固着される。なお、支柱 1 0 の上端部は前記テレビ掛け具に連結してもかまわない。

【 0 0 2 1 】

支柱 1 0 の上部の一側面部は取着部 1 7 となっており、該取着部 1 7 には電源機器としてのテーブルタップ 5 7 がビス等で取り付けられる。支柱 1 0 の両側には平面視 L 字状の固定具 1 8 が取り付けられる。両固定具 1 8 は同一高さに取り付けられ、左右対称である。

10

【 0 0 2 2 】

各固定具 1 8 は L 字状の一片 1 8 a を支柱 1 0 の前部両側面に沿わせてビス 1 9 で取り付けることで支柱 1 0 に固定される。各固定具 1 8 の他片 1 8 b には前後に貫通する固定具孔 2 0 が形成されている。

【 0 0 2 3 】

化粧パネル 7 は正面視で支持材 6 よりも左右幅が広い矩形形状の M D F ボードで形成される。化粧パネル 7 の中央部には前後に貫通する横長のパネル孔 2 2 が形成されている。

【 0 0 2 4 】

化粧パネル 7 の背面の両側端部には配線カバー 9 を化粧パネル 7 に着脱自在に取り付けるための上下に長い取着具 2 3 が取り付けられる。

20

【 0 0 2 5 】

図 6 のように、各取着具 2 3 は樹脂製であって、具体的には A B S 樹脂からなる。各取着具 2 3 は、化粧パネル 7 の背面にビス 2 5 で固着される固着片 2 6 と、固着片 2 6 より化粧パネル 7 の外側方に向けて突出する挟持片 2 7 とで構成され、挟持片 2 7 は固着片 2 6 よりも一段後方に位置する。

【 0 0 2 6 】

図 3 や図 5 等に示すように、棚 8 は、化粧パネル 7 から前方に突出する棚板受け 2 8 と、棚板受け 2 8 によって支持される棚板 2 9 とで構成される。

30

【 0 0 2 7 】

棚板受け 2 8 は、棚板 2 9 を受ける受け具 3 0 と、受け具 3 0 の後端部上に取り付けられる樹脂製のキャップ 3 1 で構成される。

【 0 0 2 8 】

受け具 3 0 は金属板からなり、化粧パネル 7 を介して両固定具 1 8 に取り付けられる取付部 3 2 と、取付部 3 2 から前方に突出する受け部 3 3 で構成されている。

【 0 0 2 9 】

取付部 3 2 の左右方向の中央部には化粧パネル 7 のパネル孔 2 2 と略同大同形の切欠部 3 5 (図 1 参照) が形成されている。

【 0 0 3 0 】

棚板受け 2 8 を両固定具 1 8 に取り付けるには、化粧パネル 7 の背面を両固定具 1 8 の他片 1 8 b の前面に当接し、棚板受け 2 8 の取付部 3 2 を切欠部 3 5 が化粧パネル 7 のパネル孔 2 2 と重複するよう化粧パネル 7 の前面に当接する。そして、前側から取付部 3 2 、化粧パネル 7 、各固定具 1 8 の他片 1 8 b に順に挿通した複数のビス 3 6 により、取付部 3 2 を両固定具 1 8 に締結して、取付部 3 2 と両固定具 1 8 で化粧パネル 7 を挟持する。

40

【 0 0 3 1 】

つまり、棚板受け 2 8 は化粧パネル 7 を介して支柱 1 0 に取り付けられ、棚板受け 2 8 の取付部 3 2 、固定具 1 8 、及びビス 3 6 は化粧パネル 7 を支持材 6 に取り付けるための取付手段を兼ねている。

50

【 0 0 3 2 】

このようにして取り付けられた化粧パネル 7 は、左右方向の中央部が支持材 6 で支持され、上端部が壁 2 に取り付けられた上方のテレビ 3 の下端よりもやや上方に配置され、支柱 1 0 の上端部を除く大部分を前側から覆う。なお、化粧パネル 7 は支柱 1 0 の全体を前側から覆うものであってもかまわない。また、化粧パネル 7 の下端部はビス 3 5 を用いて幅木よけ 1 2 に取り付けられるが、化粧パネル 7 は前記固定具 1 8 にのみ取り付けられるものであってもよい。

【 0 0 3 3 】

化粧パネル 7 は、前記左右方向の中央部を挟んだ両側部分が支持材 6 よりも外側方に突出し、これら突出部分と後方の壁 2 の間には配線やテーブルタップ 5 7 等を収容する配線用空所 3 7 (図 1、図 6 参照) が形成される。両配線用空所 3 7 はこの間の支持材 6 で仕切られるが、幅木よけ 1 2 の配線用凹所 1 5 を介して連通する。

10

【 0 0 3 4 】

化粧パネル 7 のパネル孔 2 2 の左右方向の中央部は後方の支柱 1 0 によって塞がれる。パネル孔 2 2 の中央部を挟んだ両側部分は支柱 1 0 よりも外側方に位置して配線引出口 3 8 を構成する。各配線引出口 3 8 は対応する固定具 1 8 の固定具孔 2 0 を介して配線用空所 3 7 に連通する。

【 0 0 3 5 】

図 5 のように受け具 3 0 の受け部 3 3 は、切欠部 3 5 の両側の側縁及び下縁の夫々から前方に突出する側板部 3 9 及び底板部 4 0 と、両側板部 3 9 の上縁から外側方に突出する支持片部 4 1 とで構成されている。

20

【 0 0 3 6 】

両側板部 3 9 の下縁同士は底板部 4 0 で接続されている。受け部 3 3 内には両側板部 3 9 及び底板部 4 0 で囲まれた上方に開口する凹所 4 2 が形成されている。凹所 4 2 は切欠部 3 5 を通じてパネル孔 2 2 に連通する。

【 0 0 3 7 】

底板部 4 0 は後下がり傾斜し、各側板部 3 9 は底板部 4 0 の側縁に接続される下縁を斜片とした略直角三角形形状をしている。底板部 4 0 の前縁や両側板部 3 9 の上縁は切欠部 3 5 の上端と略同一高さに位置している。底板部 4 0 はパネル孔 2 2 の前方に位置し、切欠部 3 5 及びこれと重複するパネル孔 2 2 を前方から覆う。

30

【 0 0 3 8 】

キャップ 3 1 の両側端部は受け具 3 0 の各側板部 3 9 の上縁の後端部に取り付けられ、凹所 4 2 の後端部を上から覆う。

【 0 0 3 9 】

キャップ 3 1 の後部には横長で上下に貫通するキャップ孔 4 3 が形成されている。キャップ孔 4 3 は凹所 4 2 の後端部に連通し、該キャップ孔 4 3 と凹所 4 2 で配線通路 6 6 を構成している。

【 0 0 4 0 】

棚板 2 9 は木製で棚板受け 2 8 よりも左右幅の大きい矩形形状に形成されている。棚板 2 9 は凹所 4 2 を上方から覆うように棚板受け 2 8 の両支持片部 4 1 上に載置され、ビス 6 7 を用いて取り付けられる。

40

【 0 0 4 1 】

図 2 に示すように、棚板 2 9 を棚板受け 2 8 に取り付けた状態では、棚板 2 9 が化粧パネル 7 の前方に離間して配置され、該棚板 2 9 と化粧パネル 7 の前面の間には隙間 4 8 が形成される。棚板 2 9 はキャップ孔 4 3 よりも前方に位置する。

【 0 0 4 2 】

隙間 4 8 は配線通路 6 6 を介してパネル孔 2 2 の両側部分で構成される各配線引出口 3 8 に連通する。

【 0 0 4 3 】

各配線カバー 9 は樹脂製であって、具体的には A B S 樹脂からなる。図 6 及び図 7 に示

50

すように、各配線カバー 9 は、対応する配線用空所 3 7 を外側方から覆うカバー部 4 9 と、カバー部 4 9 の前縁から化粧パネル 7 の内側方に向けて突出して化粧パネル 7 の背面に沿わせられる差込片部 5 0 とで構成されている。

【 0 0 4 4 】

差込片部 5 0 には後方に突出する嵌込部 5 1 が形成されている。各配線カバー 9 を化粧パネル 7 に取り付けるには、差込片部 5 0 を対応する取着具 2 3 の挟持片 2 7 と化粧パネル 7 の背面との間に形成された外側方に開口する差込溝 5 2 に挿入し、該差込片部 5 0 を挟持片 2 7 と化粧パネル 7 で挟持する。また、嵌込部 5 1 を取着具 2 3 の挟持片 2 7 の前面に上下に亘って形成された嵌込溝部 5 3 に嵌め込む。これにより各配線カバー 9 は化粧パネル 7 に着脱自在に取り付けられる。

10

【 0 0 4 5 】

各配線カバー 9 a、9 b の下端は床 5 に当接する、又は床 5 の近傍に配置される。各配線カバー 9 のカバー部 4 9 は、化粧パネル 7 の背面から後方に突出する前部 4 9 a と、前部 4 9 a から化粧パネル 7 の内側の斜め後方に向けて突出する後部 4 9 b で構成されている。

【 0 0 4 6 】

後部 4 9 b の先端部は他部よりも薄肉で弾性変形しやすい弾接部 5 5 となっており、弾接部 5 5 は図 6 のように弾接部 5 5 を弾性変形させて壁 2 に接触する。カバー部 4 9 の後部 4 9 b の下端部には後方及び下方に開口する幅木用切欠 5 6 が形成されており、各配線カバー 9 の幅木用切欠 5 6 には壁 2 に設けられた幅木 1 1 を左右方向に通過させる。

20

【 0 0 4 7 】

図 1 のように、両配線カバー 9 のうち、テーブルタップ 5 7 が配置される配線用空所 3 7 を塞ぐ一方の配線カバー 9 a のカバー部 4 9 においてテーブルタップ 5 7 に対応する上部には作業用開口 5 8 が形成される。

【 0 0 4 8 】

前記作業用開口 5 8 は配線カバー 9 b と同一長さで左右対称形状の長尺な部材を切断して上下長さを短くすることにより形成され、テーブルタップ 5 7 に対向してテーブルタップ 5 7 の側方に位置する部分は全て開放される。なお、各取着具 2 3 の上下長さは対応する配線カバー 9 と略同一の長さとなるものである。また、配線カバー 9 a を取り付けるための取着具 2 3 も他方の取着具 2 3 と同一長さで左右対称形状の部材を切断することにより形成される。

30

【 0 0 4 9 】

棚装置 1 を設置するには、壁 2 に取付具 1 3 を用いて支持材 6 を取り付け、この後、支持材 6 に棚 8 及び化粧パネル 7 を固定具 1 8 を用いて取り付ける。このように設置された棚装置 1 の化粧パネル 7 と壁 2 との間には各配線用空所 3 7 が形成され、各配線用空所 3 7 には配線やテーブルタップ 5 7 が収納される。

【 0 0 5 0 】

テーブルタップ 5 7 は上下に複数のコンセントを有し、該テーブルタップ 5 7 の電源線 6 3 の端部に設けられたプラグは壁 2 に設けられたコンセントに接続される。テーブルタップ 5 7 は前記支柱 1 0 に設けられた取着部 1 7 にコンセントを作業用開口 5 8 側に向けた状態でビス等で取り付けられる。このように取り付けられたテーブルタップ 5 7 の下端は作業用開口 5 8 の下端と同レベルあるいは上方に配置される。

40

【 0 0 5 1 】

各配線用空所 3 7 には、配線として、前記テーブルタップ 5 7 の電源線 6 3 に加えて、テレビ 3 と電気機器 4 を接続する信号線等の接続配線 6 4、電気機器 4 とチューナーを接続するアンテナ線 6 5、テレビ 3 の電源線 6 0、電気機器 4 の電源線 6 1 等が通される。

【 0 0 5 2 】

例えばテレビ 3 に接続される電源線 6 0 及び接続配線 6 4 は、テレビ 3 のある上方から配線用空所 3 7 に導入される。このうち電源線 6 0 のプラグは配線用空所 3 7 においてテーブルタップ 5 7 のコンセントに接続される。他方、接続配線 6 4 は、配線引出口 3 8、

50

配線通路 6 6、及び隙間 4 8 を通して棚 8 の上方に引き出され、そのコネクタが棚 8 上の電気機器 4 に接続される。

【 0 0 5 3 】

電気機器 4 に接続される電源線 6 1 及びアンテナ線 6 5 は、隙間 4 8、配線通路 6 6、及び配線引出口 3 8 を介して配線用空所 3 7 に導入される。電源線 6 1 は配線用空所 3 7 においてテーブルタップ 5 7 のコンセントに接続される。

【 0 0 5 4 】

配線用空所 3 7 に導入されたアンテナ線 6 5 や、テーブルタップ 5 7 の電源線 6 3 は、配線カバー 9 の下端と床 5 とのわずかな隙間から引き出されて、壁 2 に設けられたチューナーやコンセントに接続される。また、配線用空所 3 7 内の配線は幅木よけ 1 2 の配線用凹所 1 5 を通して他の配線用空所 3 7 に導入できるようにもなっている。

10

【 0 0 5 5 】

以上説明した本例の棚装置 1 にあっては、化粧パネル 7 と壁 2 の間に形成された配線用空所 3 7 に配線やテーブルタップ 5 7 を配置し、これら配線やテーブルタップ 5 7 を化粧パネル 7 と両側の配線カバー 9 で隠すことができる。

【 0 0 5 6 】

また、このように配線用空所 3 7 に配置されたテーブルタップ 5 7 には、電気機器 4 やテレビ 3 の電源線 6 0、6 1 を接続することができ、この場合、短い電源線 6 0、6 1 であっても、電気機器 4 やテレビ 3 に電力を供給することができる。また、配線用空所 3 7 からは電源供給用の電線としてテーブルタップ 5 7 の電源線 6 3 のみを引き出せばよく、多数の配線が露出せず、見栄えが良い。

20

【 0 0 5 7 】

さらに、配線カバー 9 a において取着部 1 7 に取り付けられたテーブルタップ 5 7 に対応する箇所には配線用空所 3 7 を外側方に解放させる作業用開口 5 8 が形成されている。この作業用開口 5 8 は配線用空所 3 7 に外側から手を入れるための開口として利用することができ、これにより、支持材 6 の取着部 1 7 にテーブルタップ 5 7 を取り付ける作業や、支持材 6 に取り付けられたテーブルタップ 5 7 に電源線 6 0、6 1 を接続する作業が容易になる。

【 0 0 5 8 】

また、本例では、支持材 6 で化粧パネル 7 及び棚 8 の左右方向の中央部を支持するので、化粧パネル 7 及び棚 8 を支持材 6 でバランス良く支持できる。また、化粧パネル 7 の支持材 6 より外側方に突出した両側部分の夫々と壁 2 との間に形成された配線用空所 3 7 に配線やテーブルタップ 5 7 等を露出することなく配置でき、化粧パネル 7 と壁 2 の間を有効に利用できる。

30

【 0 0 5 9 】

また、カバー部 4 9 を有する配線カバー 9 が化粧パネル 7 に対して着脱自在に取り付けられるので、化粧パネル 7 から配線カバー 9 を取り外せば、配線用空所 3 7 の上下方向の全体を外側方に解放させ、該配線用空所 3 7 に配線やテーブルタップ 5 7 等を容易に配置することができる。

【 0 0 6 0 】

なお、本例では、配線カバー 9 a を切断して作業用開口 5 8 を形成したが、配線カバー 9 a のカバー部 4 9 においてテーブルタップ 5 7 に対応する箇所に切欠を設け、該切欠で作業用開口 5 8 を構成してもよい。

40

【 符号の説明 】

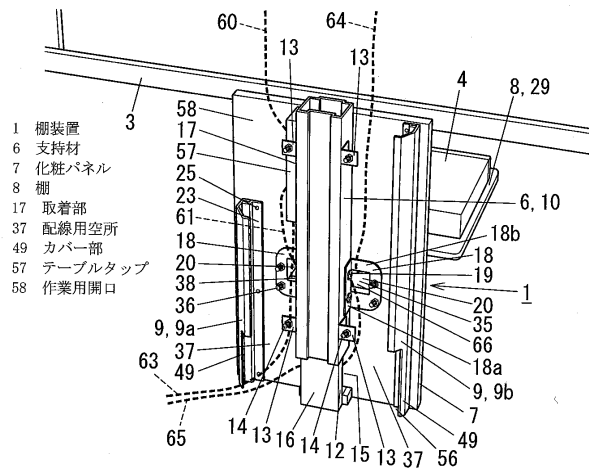
【 0 0 6 1 】

- 1 棚装置
- 2 壁
- 6 支持材
- 7 化粧パネル
- 8 棚

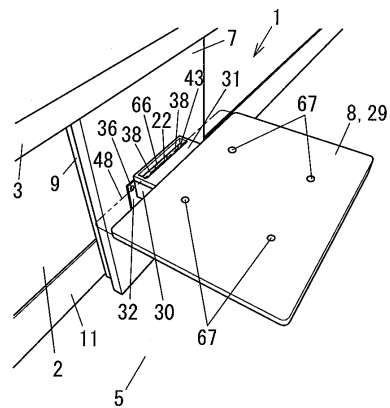
50

- 1 7 取着部
- 3 7 配線用空所
- 4 9 カバー部
- 5 7 テーブルタップ
- 5 8 作業用開口

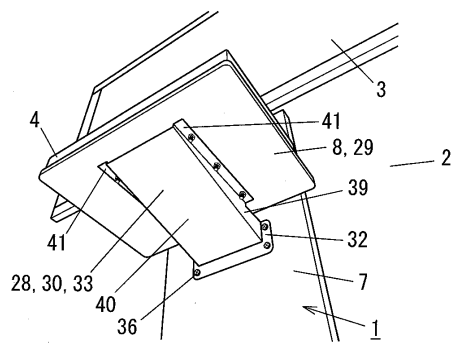
【図1】



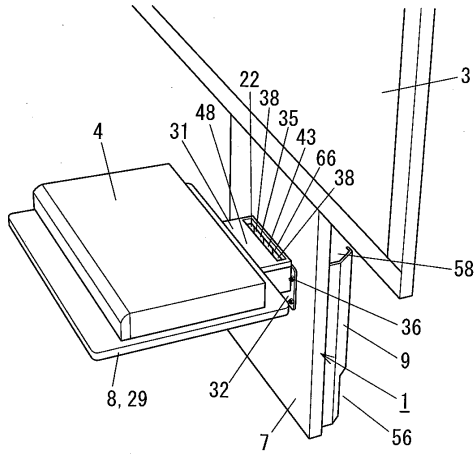
【図2】



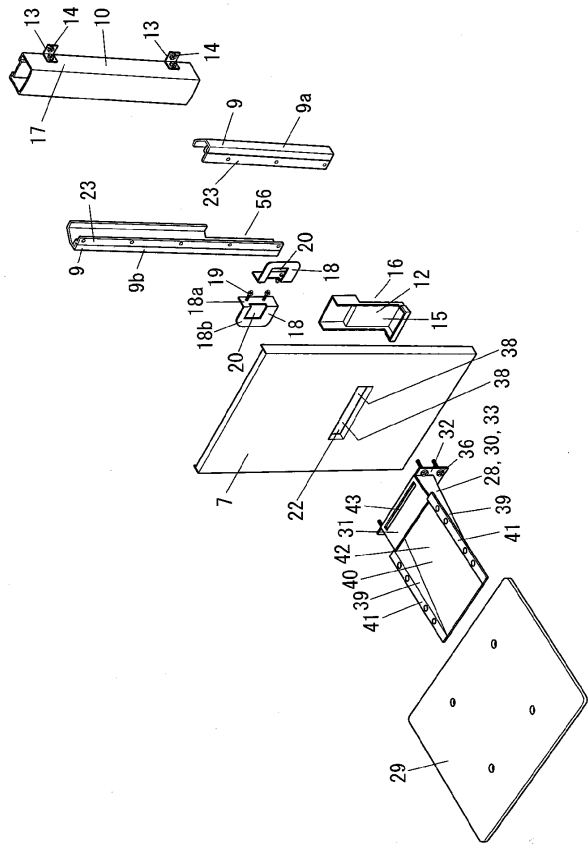
【図3】



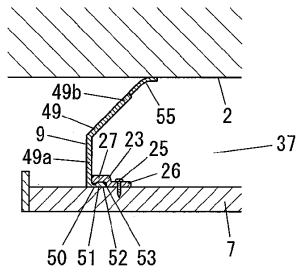
【図4】



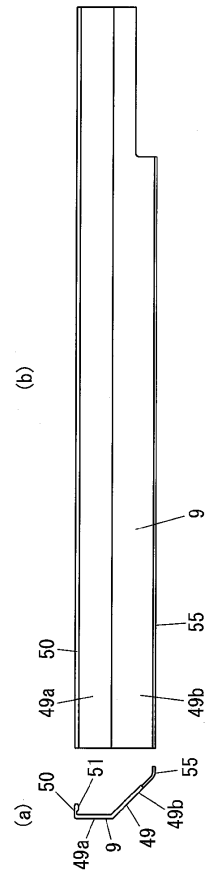
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

審査官 鈴木 明

- (56)参考文献 実開昭52-053106(JP,U)
特開平06-042110(JP,A)
登録実用新案第3133808(JP,U)
特開2006-060754(JP,A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
- | | |
|------|-------|
| H04N | 5/64 |
| A47B | 96/06 |
| A47B | 81/06 |